

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場取引所 東大

上場会社名 タイガースポリマー株式会社

コード番号 4231 URL <http://tigers.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 健太郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 井上 宏章

TEL 06-6871-8060

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	11,648	△33.4	△205	—	△210	—	△261	—
21年3月期第2四半期	17,488	—	768	—	827	—	310	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△13.06	—
21年3月期第2四半期	15.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	25,230	18,692	71.7	903.17
21年3月期	25,397	18,409	70.3	892.43

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 18,077百万円 21年3月期 17,862百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	2.00	8.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,700	△19.4	400	△22.8	400	△32.8	100	—	5.00

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 20,111,598株 21年3月期 20,111,598株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 96,048株 21年3月期 95,639株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 20,015,738株 21年3月期第2四半期 20,016,678株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載の業績予想は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、自動車需要の低迷や設備投資、住宅着工の減少の影響を受けることとなり、売上高116億48百万円（前年同期比58億40百万円 33.4%減少）、営業損失2億5百万円（前年同期は営業利益7億68百万円）、経常損失2億10百万円（前年同期は経常利益8億27百万円）、四半期純損失2億61百万円（前年同期は四半期純利益3億10百万円）と減収減益になりました。

部門別の状況

ホース部門は、国内ではエアコン等の家電用ホースが低迷したことに加え、機械設備用・住宅用等の産業用ホースが減少しました。海外では、米国で生産する産業用ホースが景気低迷及び円高による為替の影響により減少したほか、マレーシア及びタイで生産する家電用ホースが減少しました。この結果、ホース部門全体の売上高は、34億37百万円（前年同期比10億29百万円 23.0%減少）となりました。

ゴムシート部門は、玄関用マットが景気悪化により減少したことに加え、汎用シートや自動車産業向けシートなど全般にわたり減少しました。この結果、ゴムシート部門全体の売上高は、20億25百万円（前年同期比7億7百万円 25.9%減少）となりました。

成形品部門は、国内及び米国、タイを中心に自動車向け需要の低迷及び円高による為替の影響を受け減少しました。この結果、成形品部門全体の売上高は、57億92百万円（前年同期比38億23百万円 39.8%減少）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、140億67百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少2億97百万円、棚卸資産の減少1億68百万円等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%減少し、111億62百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の減少1億81百万円等によるものであります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%減少し、252億30百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.8%減少し、51億86百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少3億73百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少1億50百万円等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて22.3%増加し、13億51百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加1億50百万円、退職給付引当金の増加1億44百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、186億92百万円となりました。主な要因は、為替換算の影響による為替換算調整勘定の増加4億52百万円、利益剰余金の減少3億1百万円等によるものであります。この結果、1株当たり純資産は903円17銭、自己資本比率は71.7%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ14百万円増加（前期比0.3%増加）し、49億24百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、10億56百万円（前年同期比8.0%増加）となりました。収入の主な内訳は、減価償却費8億59百万円、売上債権の減少額3億83百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失2億20百万円、仕入債務の減少額4億20百万円等であります。

投資活動の結果支出した資金は、10億87百万円（前年同期比3.0%減少）となりました。支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出4億79百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出6億2百万円等であります。

財務活動の結果支出した資金は、41百万円（前年同期比66.3%減少）となりました。収入の主な内訳は、長期借入れによる収入1億50百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出1億50百万円、配当金の支払額39百万円等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年10月30日に平成22年3月期通期の業績予想を修正いたしました。当該予想に関する詳細は、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、平成21年10月30日公表の数値は変更していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,105	5,621
受取手形及び売掛金	5,257	5,554
商品及び製品	1,301	1,311
仕掛品	171	210
原材料及び貯蔵品	829	948
繰延税金資産	152	111
その他	266	420
貸倒引当金	△16	△22
流動資産合計	14,067	14,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,071	7,924
減価償却累計額	△4,682	△4,515
建物及び構築物(純額)	3,388	3,409
機械装置及び運搬具	17,971	17,326
減価償却累計額	△15,025	△14,171
機械装置及び運搬具(純額)	2,945	3,154
工具、器具及び備品	5,817	5,767
減価償却累計額	△5,231	△5,163
工具、器具及び備品(純額)	586	604
土地	1,623	1,597
建設仮勘定	719	678
有形固定資産合計	9,263	9,444
無形固定資産		
投資その他の資産	244	252
投資有価証券	1,216	1,103
繰延税金資産	197	199
その他	251	251
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	1,655	1,545
固定資産合計	11,162	11,241
資産合計	25,230	25,397

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,315	2,688
短期借入金	1,650	1,650
1年内返済予定の長期借入金	—	150
未払金	926	881
未払法人税等	44	54
賞与引当金	181	185
役員賞与引当金	1	1
その他	67	270
流動負債合計	5,186	5,882
固定負債		
長期借入金	150	—
退職給付引当金	896	752
役員退職慰労引当金	—	244
繰延税金負債	16	14
その他	287	93
固定負債合計	1,351	1,104
負債合計	6,537	6,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,149	4,149
資本剰余金	3,900	3,900
利益剰余金	10,822	11,123
自己株式	△51	△51
株主資本合計	18,821	19,122
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	154	91
為替換算調整勘定	△898	△1,351
評価・換算差額等合計	△743	△1,260
少数株主持分	614	547
純資産合計	18,692	18,409
負債純資産合計	25,230	25,397

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	17,488	11,648
売上原価	14,246	9,855
売上総利益	3,242	1,793
販売費及び一般管理費	2,473	1,998
営業利益又は営業損失(△)	768	△205
営業外収益		
受取利息	19	12
受取配当金	21	15
不動産賃貸料	12	8
その他	34	42
営業外収益合計	88	79
営業外費用		
支払利息	10	12
不動産賃貸原価	2	2
為替差損	12	64
その他	4	5
営業外費用合計	29	85
経常利益又は経常損失(△)	827	△210
特別利益		
固定資産売却益	0	0
貸倒引当金戻入額	3	1
特別利益合計	3	1
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	5	11
たな卸資産評価損	90	—
特別損失合計	97	11
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	734	△220
法人税、住民税及び事業税	298	85
法人税等調整額	64	△80
法人税等合計	362	4
少数株主利益	61	36
四半期純利益又は四半期純損失(△)	310	△261

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	734	△220
減価償却費	1,061	859
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	△7
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△19	△0
受取利息及び受取配当金	△41	△28
支払利息	10	12
為替差損益(△は益)	0	59
固定資産除却損	5	11
売上債権の増減額(△は増加)	△268	383
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11	351
仕入債務の増減額(△は減少)	△81	△420
その他	△185	△53
小計	1,192	947
利息及び配当金の受取額	44	26
利息の支払額	△13	△2
法人税等の支払額	△244	84
営業活動によるキャッシュ・フロー	978	1,056
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△443	△479
定期預金の払戻による収入	300	1
有価証券の取得による支出	△81	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△850	△602
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
その他	△40	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,121	△1,087
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,450	79
短期借入金の返済による支出	△1,150	△79
長期借入れによる収入	—	150
長期借入金の返済による支出	△300	△150
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△120	△39
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122	△41
現金及び現金同等物に係る換算差額	△111	86
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△376	14
現金及び現金同等物の期首残高	4,425	4,910
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,048	4,924

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

当グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の各種部品及び部品素材の製造を業とする単一事業ですので、開示の対象となるセグメントはありません。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）（単位：百万円）

	日 本	米 国	ア ジ ア	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
a. 外部顧客に対する売上高	10,374	4,798	2,315	17,488	—	17,488
b. セグメント間の内部売上高又は振替高	472	3	405	881	(881)	—
計	10,846	4,802	2,721	18,370	(881)	17,488
営業利益	90	63	371	526	242	768

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）（単位：百万円）

	日 本	米 国	ア ジ ア	計	消 去 又は全社	連 結
売上高						
a. 外部顧客に対する売上高	7,428	2,633	1,587	11,648	—	11,648
b. セグメント間の内部売上高又は振替高	270	0	252	523	(523)	—
計	7,698	2,633	1,840	12,172	(523)	11,648
営業利益又は営業損失(△)	△ 257	△ 147	59	△ 346	140	△ 205

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域 アジア …… タイ、マレーシア、中国

3 会計処理の方法の変更

(前第2四半期連結累計期間)

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、日本で25百万円増加しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間 (平成20年4月1日～平成20年9月30日) (単位：百万円)

	北 米	ア ジ ア	計
I 海外売上高	4,796	2,342	7,139
II 連結売上高			17,488
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	27.4	13.4	40.8

当第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日) (単位：百万円)

	北 米	ア ジ ア	計
I 海外売上高	2,563	1,672	4,236
II 連結売上高			11,648
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	22.0	14.4	36.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

北 米 …… 米国、カナダ

ア ジ ア …… タイ、マレーシア、中国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

該当事項はありません。